

旭川医科大学病院 放射線部

【施設紹介】

国立大学法人旭川医科大学は、新設医科大学の第一号として1973年に開学しました。附属病院は1976年に開院し、2005年には旭川医科大学病院と名称を変更し現在に至っています。当院は、患者中心の医療、人間本位の医療、地域医療福祉の向上、人間性豊かな医療人育成、成果の発信を目標に掲げた27診療科、28中央診療施設等からなる特定機能病院です。また、北海道の広大な道北・道東エリアの医療を担う基幹病院であり、道北ドクターヘリ協力病院として地域の救急医療の要となっています。病床数は602床、令和3年度の1日平均外来患者数は1,517人、入院患者延数は67,073人であり、道北・道東を中心に広く道内外の患者を受け入れています。また、病床数当りの手術件数が多い病院でもあります。



旭川医科大学病院外観

当院のある旭川市は、北海道中央部に位置する人口が約33万人の中核市であり、市内中心部からは、南側に約5kmとやや離れた丘陵地にあり、繁華街まで車で15分ほどの位置にあります。

【組織・体制】

放射線部は令和4年4月現在、診療放射線技師39名が在籍し、光学診療部・放射線部ナースステーション所属看護師24名、放射線科医師15名、事務員8名が一体となって診療にあたっています。技師の平均年齢は35.9歳で20歳代が13名在籍し、女性比率は17.9%となっています。当直業務体制は、休日勤務2名、夜間は15:30～翌日8:30まで1名の16時間勤務、加えて緊急の血管造影とMRI対応のため、各々待機者が対



ドクターヘリ



格納庫（大学敷地内）

応します。平日の2次救急指定日には、夜勤者の他、21:00まで手術室業務をサポートする体制で行っています。

【基本方針・基本理念】

旭川医科大学病院は「大学病院としての使命を認識し、病める人の人権や生命の尊厳を重視した先進医療を行うとともに、次代を担い、地域医療に寄与し、及び国際的にも活躍できる医療人を育成する」という基本理念の下、診療・研究・教育活動を行っています。

放射線部の部署目標は、「医療安全に配慮した業務の構築を目指す」・「他部門と連携し、チーム医療の一員として貢献に努める」・「質の高い医療を目指す」、と大きく3つの目標を掲げ、スタッフ一同日々努力しています。

【新人教育と人材育成】

新規採用職員は、教育担当者がペアとなり約6か月間の研修を行います。一般撮影・病棟撮影、手術室やCT撮影を経験し、10～11月より夜間勤務に対応することになります。その後は各部門にローテーションとなり、初期研修プログラムに沿って教育を行っています。近年は2年目になると、部門メンバーの指導のもと、地方会への学会発表を行っています。また、部内では、定期的な勉強会や、研修や学会発表時の出張等サポートも行っています。



Hybrid 手術室

【部門紹介】

放射線部は中央診療棟1、2階とCT-MRI装置棟、および高エネルギー施設に位置し、一般撮影部門・血管撮影部門・CT部門・MRI部門・核医学部門・放射線治療部門から構成され、加えて臨床検査部と共同運用されている超音波画像センターに人員が充てられています。近年の業務量増加に対し、技師・看護師・放射線科医師がチームとして職種間を超えて協力し取り組んでいます。



256列CT

一般撮影部門は、一般撮影4室（同型機種 of 立位・臥位撮影用 FPD 装置）、歯科用パノラマ装置、歯科用デンタル装置、骨塩定量装置、乳房撮影装置、TV透視室3部屋、内視鏡透視室からなり、手術室には移動型透視装置3台が稼働し、病棟を含め5台の

ポータブル撮影装置を使用し、病棟撮影と手術室撮影・透視を含めた業務を行っています。



放射線治療装置



乳腺撮影装置



半導体SPECT-CT

血管造影部門は、3台の装置と Hybrid 手術室 1 台を担当し、一般撮影部門と重複した業務シフトを組んでいます。

CT 部門は、256 列・80 列・64 列の 3 台が稼働し、造影検査は主に

256 列 CT 装置に医師・看護師を集中して行い、80 列 CT 装置は外来を中心とした単純撮影、64 列 CT 装置は放射線治療の計画 CT と兼用で、単純撮影と biopsy、マーキングなどに使用しています。

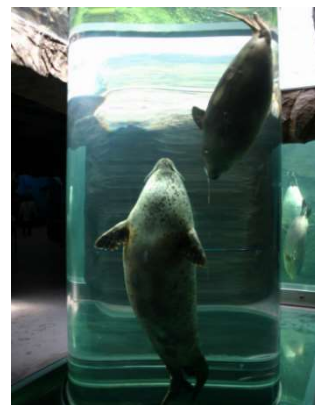
MRI 部門では、3T 装置 2 台、1.5T 装置 1 台が稼働しています。

核医学部門では、SPECT-CT 装置 1 台、SPECT 装置 2 台、PET-CT 装置 1 台で運用しています。

放射線治療部門では、2 台のリニアックと腔内照射 (RALS) を有し診療科と連携して治療を行っています。

【北海道の旭川？】

当院は、大学病院としては小規模な地方病院であり、首都圏への移動も不便なところではありますが、北海道の大自然を楽しむには絶好の立地となります。短い夏は、一斉に花が咲きほころび、美しい景観の美瑛・富良野など観光名所が多く、どこに行っても楽しめます。また市内には行動展示で有名となった旭山動物園や、ラーメン村といったスポット、そして大雪山系の山々の登山や、北海道各地へのドライブや温泉巡りも一考です。冬は雪に加えて氷点下 20℃ を体験できる自然豊かな地方都市であり、スキー・スケートといったウィンタースポーツが盛んです。また、旭川は観光のみならず、道



旭山動物園

内物流の拠点として各地の農産物が集積するため、内陸でありながらも、ご当地グルメに事欠かないところとなっています。ラーメン・ジンギスカン・海鮮・お酒など、美味しい物には事欠きません。



このように自然豊かな北の大地で、我々と一緒に働ける日を楽しみにしております。